

第3学年1組 国語科学習指導案

平成21年6月16日(火)

指導者 菅原 寛

場所 3年1組教室

1 単元名 分かりやすく書こう

教材名 おもしろいもの、見つけた ― 様子をつたえる

2 目標

○ 知らせたいことを見つけ、「おもしろいもの」を相手に伝わるように、すすんでまとめようとする。

【関心・意欲・態度】

○ 「おもしろいもの」について知らせたい事柄を収集したり、選択したりして書くことができる。

【書くこと イ】

○ 伝えたいことが相手に伝わるように段落ごとに分け、順序等の簡単な構成を考えて書くことができる。

【書くこと ウ】

○ 段落ごとに改行し、句読点を適切に打つことができる。

【言語事項】

3 学習を組織するにあたって

(1) 児童の実態 (略)

(2) 単元について(教材について)

○ 自分の見つけたおもしろいものを友だちに紹介する教材は、友だちとのコミュニケーションをさらに活発なものとし、互いの心に通じ合いに役立つ教材である。

○ 2学年の「楽しかったよ、二年生」では、初め、中、終わりの時系列的な段落構成で学習してきたが、この教材では、「段落、書き出し、知らせたいこと、結び」のように、説明の順序によって、段落を構成することになる。これまで学習してきた段落の構成や表現の工夫などを、書き手の立場から見直すことのできる教材である。

4 研究主題との関連

研究内容Ⅰ 基礎基本の定着

○ 段落を意識し、構成を考えて文章を書く力をつける。

○ 色、様子、大きさ、手ざわりなどを表す言葉を使って、詳しく表現する力をつける。

○ 比喩、比較、事実を詳しくする言葉を使って、わかりやすく表現する力をつける。

○ 誤字、脱字、句読点、改行などの項目を考えながら、一人ひとりの能力、個性に応じ、推敲力をつける。

研究内容Ⅱ かかわり合う授業づくり

○ 作文を書く時間であっても、できるだけ「個人→交流→個人」の時間を設けて、かかわり合う中で、友だちの考えのよさや新たな考えへの気づきを大切にしていく。

○ 「作文が好き」な児童が一人でも多くなるように、互いに認め合う評価をさせる。そのために、適切な文末例を紹介して、今後、使えるようにしていく。

5 単元学習計画 (全13時間 本時 4時間目)

段階	主な学習活動	☆研究主題との関連 ○留意事項
第一次	<p>平田地区のおもしろいものを見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VTRなどで「おもしろいもの」の内容を知り、学習の見通しを持つ ・教材文の全体を読む。 <p style="text-align: right;">①</p>	<p>○学習に関心を持たせるために、次の点を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の様子をVTRで紹介する。 (社会科で探検したコースに飛鳥沼も紹介) ・平田地区の自然や通学路などで、友だちに自分が発見したおもしろいものを見つけ、知らせることを知る。
	<p>おもしろいものをさがし、メモしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードの記入のしかたを知る。 ・探検し、カードに記入する。 <p style="text-align: right;">②、③</p>	<p>☆《基礎基本の定着》</p> <p>「おもしろいもの」について、様子を表す言葉(色・形・手ざわり・大きさなど)を示し、探す際の視点を与える。</p> <p>○補助資料として次時の参考になるように、予め探検の際にデジタルカメラで写真に収めるようにする。</p> <p>○書きたいものが複数ある子は、書きたいものを見つけられずにいる子へ情報を提供させたり、見方をアドバイスさせたりする。それでも難しい児童には、担任と一緒に探すようにする。</p>
第二次	<p>えんとつ公園について、色別カードへの記入のしかたを考えよう。</p> <p>○三つの事柄をもとに、色別カードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おもしろいと思ったところ」 ・「様子」 ・「場所」 <p style="text-align: right;">本時 ④</p>	<p>○みんなが知っている「えんとつ公園」の拡大写真を提示し、色別カードへの記入のしかたを考える。</p> <p>☆《基礎基本の定着》</p> <p>カードを用意し、段落構成を理解する。</p> <p>☆《かかわり合う授業づくり》</p> <p>様子がよくわかるようにくわしく書くためのポイントをみんなで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色・形・大きさ・手ざわりなど ・比喩・比較・事実を詳しく表す言葉
	<p>一番知らせたいたいものを選んで、色別カードに記入しよう。</p> <p>○一番知らせたいたい「おもしろいもの」を選ぶ。</p> <p>○三つの事柄をもとに、色別カードに記入する。</p> <p style="text-align: right;">⑤</p>	<p>○探検で撮った写真を用意し「おもしろいもの」を選ぶ参考にしたり、様子を表す言葉探しに役立てたりする。</p> <p>○選べない子には、共に考えたり、友だちの文章を参考にさせたりする。</p> <p>○書きやすいものから、カードの内容を書き込ませる。</p> <p>☆《基礎基本の定着》</p> <p>比喩、比較、事実を詳しくする言葉を使って、わかりやすく表現する力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「校庭と同じくらいの広さ」「針のようにとがってい

	<p>書き出しと終わりの文をくふうしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しの工夫 ・段落を意識したカードの並べ方 ・終わりの文の工夫 ・題の工夫 <p>⑥</p>	<p>る」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇より大きい」「〇〇の何倍」など ・「～して、～している。」「～になっている。」など <p>○今まで学習してきた文章の書き出しと終わりに注目させ、様々な書き方があることに気づかせる。</p> <p>☆《基礎基本の定着》</p> <p>「音、見たこと、会話、したこと」、「誘いかけ、感想」など文例を提示し、自分の文章にあうものを選択させる。</p>
	<p>全体を読み返してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落のはじめの一字下がり ・誤字・脱字がないか。 <p>⑦</p>	<p>☆《基礎基本の定着》</p> <p>推敲力をつける。漢字に直せるもの、段落のはじめの一字下がりなど、視点を与えることによって、自分でチェックできるようにする。</p> <p>○個人差の調整のためにする。早くできた児童には、今まで学習してきたメモの感想を書くようにさせる。</p>
<p>第三次</p>	<p>友だちに様子がよくつたわる書き方をくふうしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読み合い、様子をつたえる工夫を話し合う。 ・様子がよくわかるように読み返し、修正する。 <p>⑧、⑨</p>	<p>○イメージしたことを出し合い、曖昧な言葉ではうまく伝えられないことに気づかせる。</p> <p>☆《基礎基本の定着》</p> <p>教科書を読み合い、例文で学習した、色、形、大きさを視点に、見直しをする。</p> <p>○教科書の他にも工夫があることを伝え、様々な例を提示し、学ばせる。</p>
	<p>友だちと読み合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互評価・自己評価 ・句読点の打ち方 ・段落意識・ <p>⑩</p>	<p>☆《かかわり合う授業づくり》</p> <p>友だちの「おもしろいもの」について共感を持ち読み合うために、互いに認め合う評価のために文末例を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～がじょうずだと思います。 ・～という書き方が好きです。 ・～は、わたしも今度使ってみたいです。 ・～をまねしたくなりました。 <p>○「学びっ子」カードで、書き方について相互評価を行う。(句読点・段落など)</p> <p>○ここでは、文字の上手下手について評価しない。</p>
	<p>友だちの意見を読んで、せい書しよう。</p> <p>○友だちの意見を読んで、最終手直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文の仕上げ <p>⑪</p>	<p>○全員が手直しをするための時間として使うのではなく、個人差の調整のために使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに完成している児童には、作品作りの感想や自分なりの気づきなどを書かせるようにする。 <p>○「学びっ子」カードで、受け取ったことを視点にして振り返って仕上げるように助言する。</p>

<p>学校のまわりの「おもしろいもの」を伝え合おう。</p>	<p>☆《かかわり合う授業づくり》 友だちの書いた「おもしろいもの」に共感を持ち、互いに聞き合うようにする。</p>
<p>○作文の発表会を行う。 ・発表のしかた ・聞き方 ⑫、⑬</p>	<p>○ポスターセッションの形式で、何度も発表できるようにし、たくさんの友だちのいいところを伝え合えるようにする。</p>

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ よりわかりやすくなる情報を取り入れながら、えんとつ公園の様子を色別カードに記入することができる。(書くこと イ)

(2) 評価規準

大きさ、色、形、手ざわりを表す言葉を使って書くことができる。

評価Bに満たない児童には、大きさ、形、色、手ざわりなど視点を示すカードを用意して書き込ませていきたい。

(3) 学習過程

	学習活動	○主な発問・指示 ・児童の反応	☆研究主題との関連 ○留意点 □評価(方法)
導入 5分	1. 本時の学習課題をつかむ。	・ えんとつ公園の写真を掲示する。	○えんとつ公園の拡大写真を掲示し、想起させる。
	課題 えんとつ公園の様子について、みんなにわかるような書き方を考えよう。	○みんなが知っているえんとつ公園です。今日は、えんとつ公園のカードづくりをみんなで考えましょう。	○身近なえんとつ公園を資料(文例)として使うことにより意欲を高める。 ○学習の流れを矢印で示す。

<p>展開 35分</p>	<p>2. 見通しを持つ。</p> <p>3. 練り上げる。</p> <p>4. 学習のまとめ</p>	<p>○赤いカード「おもしろいと思ったわけ」のカードを見てみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園にえんとつだけが残っている。 ・えんとつは使われていない。 ・えんとつのまわりは階段になっている。 <p>○青いカード「えんとつ公園の様子」について、くわしく書いてみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>えんとつは、高い えんとつは、茶色 えんとつは、長い</p> </div> <p>○このカードをよりくわしくしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えんとつは、家の屋根より高い ・えんとつは、先生の5倍だ ・えんとつは、茶色のレンガで作られている。 ・周りに階段があり、その上にたっている。 ・えんとつは、えんぴつのようだ。 <p>○よいカードは、どんなことに気をつけていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他と比べている。 ・たとえている。 ・くわしくしている。 	<p>○色別のカードは、次のようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤いカード 「おもしろいと思ったわけ」 ・青いカード 「えんとつ公園の様子」 ・黄色いカード 「えんとつ公園の場所」 <p>☆《基礎基本の定着》 段落の構成を意識して文章化していくために、色別のカードを使用する。</p> <p>☆《かかわり合う授業づくり》 青いカードでは、みんなにわかりやすい優れた表現方法について、考えを出し合うことにより、焦点化していく。</p> <p>□えんとつ公園の様子について視点にそって詳しく表すことができたか。 (カード)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5. 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○この次は、自分で調べた「おもしろいもの」についてカードづくりをします。</p>	

分かりやすく書こう

どこで、どんなものを見つけたのか、
くわしく書いて
友だちに知らせましょう。

えんとつ公園の様子について、みんなにわかるよう
な書き方を考えよう。

えんとつ公園
の 写真



おもしろいと思った
写真
えんとつ公園の様子
えんとつ公園の場所

赤いカード (おもしろいと思ったわけ)

おもしろいと思ったところ

.....

青いカード (様子をあらわす)

えんとつは、高い

えんとつは、茶色

えんとつは、家の屋根より高い

えんとつは、茶色のレンガで作られている。

まわりにかいだんがあり、その上にたっている。

ほかとくらべている。

たどえている。くわしくしている。